

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成26年12月18日 (2014.12.18)

【公表番号】特表2014-502508(P2014-502508A)

【公表日】平成26年2月3日 (2014.2.3)

【年通号数】公開・登録公報2014-006

【出願番号】特願2013-546763(P2013-546763)

【国際特許分類】

C 1 2 N 7/04 (2006.01)

A 6 1 K 39/13 (2006.01)

A 6 1 P 31/14 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 7/04 Z N A

A 6 1 K 39/13

A 6 1 P 31/14

C 1 2 N 15/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成26年10月28日 (2014.10.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(i) ドメイン V のステム (a) 又は (b) 内に塩基対ミスマッチを有さないように改変された、S a b i n 3 の 5 ' 非コード領域からなる 5 ' 非コード領域であって、ステム (a) 及び (b) 内の塩基対のうちの 7 個又は 8 個が U - A 塩基対又は A - U 塩基対である 5 ' 非コード領域と、

(ii) S a b i n 1、M a h o n e y、M E F 又は S a u k e t t 株からのカプシドタンパク質と

を有する弱毒化組換えポリオウイルス。

【請求項 2】

S a b i n 3 に由来する非構造コード領域及び 3 ' 非コード領域を有する、請求項 1 に記載のポリオウイルス。

【請求項 3】

(i) U - A 塩基対がステム (a) 内の 4 7 1 ~ 5 3 8 位及び 4 7 2 ~ 5 3 7 位並びにステム (b) 内の 4 7 8 ~ 5 3 3 位、4 8 0 ~ 5 3 1 位及び 4 8 1 ~ 5 3 0 位に存在し、A - U 塩基対がステム (b) 内の 4 7 9 ~ 5 3 2 位及び 4 8 2 ~ 5 2 9 位に存在する、又は (ii) U - A 塩基対がステム (a) 内の 4 7 1 ~ 5 3 8 位及び 4 7 2 ~ 5 3 7 位並びにステム (b) 内の 4 7 8 ~ 5 3 3 位、4 8 0 ~ 5 3 1 位及び 4 8 1 ~ 5 3 0 位に存在し、A - U 塩基対がステム (b) 内の 4 7 7 ~ 5 3 4 位、4 7 9 ~ 5 3 2 位及び 4 8 2 ~ 5 2 9 位に存在する、

改変された、S a b i n 3 の 5 ' 非コード領域のドメイン V を含む、請求項 1 又は 2 に記載のポリオウイルス。

【請求項 4】

プロテアーゼ 2 A 遺伝子内に変異をさらに含み、前記変異が、サル起源の細胞における免

疫原性粒子の収量の増加と関連している、請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載のポリオウイルス。

【請求項 5】

プロテアーゼ 2 A 遺伝子内の変異が、請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載のポリオウイルスを Vero 細胞内で継代することによって得ることができる、請求項 4 に記載のポリオウイルス。

【請求項 6】

変異が、残基 H 2 0、D 3 8 又は C 1 0 9 を変化させない、請求項 4 又は 5 に記載のポリオウイルス。

【請求項 7】

変異が、A 8 V、Y 1 0 C、1 7 C Y、N 1 8 S、T 1 9 C、Y 1 9 H、T 2 3 I、E 2 5 G、A 3 0 P、I 3 3 V、W 3 5 R、K 4 5 E、G 4 8 D、E 6 5 K、E 6 5 V、Y 7 0 C、T 7 9 A、F 8 0 L、Y 8 2 H、Y 9 3 H、H 9 6 Y、S 1 0 5 T、P 1 0 6 S、I 1 2 2 V、V 1 2 3 A、G 1 2 7 R、V 1 3 1 A 及び S 1 3 4 T のうちのいずれか 1 又は 2 以上のアミノ酸の変化である、請求項 4 ~ 6 のいずれかに記載のポリオウイルス。

【請求項 8】

不活化されている、請求項 1 ~ 7 のいずれかに記載のポリオウイルス。

【請求項 9】

ワクチンにおいて使用するための、請求項 8 に記載のポリオウイルス。

【請求項 10】

請求項 8 に記載のポリオウイルスと、薬学的に許容される担体又は希釈剤とを含むワクチン。

【請求項 11】

不活化ポリオワクチン (IPV) の種としての、請求項 1 ~ 7 のいずれかに記載のポリオウイルスの インビトロでの使用。

【請求項 12】

不活化ポリオワクチンを調製する方法であって、

(i) 請求項 1 ~ 7 のいずれかに記載のポリオウイルスを生体外の細胞培養で増殖させるステップと、

(ii) 前記ポリオウイルスを不活化するステップと、

(iii) 前記不活化ポリオウイルスを、薬学的に許容される担体又は希釈剤と共に製剤化するステップと

を含む方法。

【請求項 13】

ポリオウイルスを非ヒト細胞内で増殖させる、請求項 12 に記載の方法。

【請求項 14】

ポリオウイルスに対してワクチン接種する方法において使用するための医薬品の製造における、請求項 8 に記載のポリオウイルスの使用。

【請求項 15】

請求項 8 に記載のポリオウイルスを含む、ポリオウイルスに対するワクチン。